

The Partner for Success

第48期 中間ビジネスレポート

2023年4月1日～2023年9月30日

株式会社 **図研**

証券コード 6947

MBSEを中核としたソリューションを拡充し、 製造業DXの支援をさらに強化します

株主の皆さまには、平素のご厚情に心より御礼申し上げます。第48期中間ビジネスレポートをお届けするにあたり、業績および事業活動に関してご報告いたします。

代表取締役社長 **藤部 迅也**



業績について

当中間期の経済環境につきましては、世界的なインフレ進行や中国経済の減速懸念などにより先行き不透明な状況が続いているものの、コロナ禍からの経済活動の正常化が進んでいることから、緩やかな回復基調で推移しました。図研グループの主要なお客さまであるエレクトロニクス製造業、自動車関連・産業機器製造業におかれましては、設備投資全体は底堅く推移し、IT投資も活発な状態が続いています。

このような中で、当中間期の売上高は、178億7千9百万円

(前年同期比 11.0%増)となり、すべてのソリューションにおいて売上が大きく伸び、上半期として過去最高となりました。特に、日本および欧米において、主力の電気設計システム「CR-8000」シリーズやワイヤハーネスの設計システム「E3.series」の販売が堅調に推移しました。

利益面につきましては、開発投資や営業活動の活発化によりコストは増加したものの、売上高が大きく伸びたことにより、営業利益19億9千6百万円(前年同期比 5.5%増)、経常利益23億8千4百万円(前年同期比 13.9%増)、親会社株主に帰

属する四半期純利益は16億3千8百万円(前年同期比 15.8%増)となり、いずれも上半期の過去最高を更新しました。

当社は、株主の皆さまへの利益還元を重要な政策と位置づけ、安定した配当の実施を基本方針としています。当期の中間配当金につきましては、1株につき25円とし、年間配当は50円を予定しています。

今後の取り組みについて

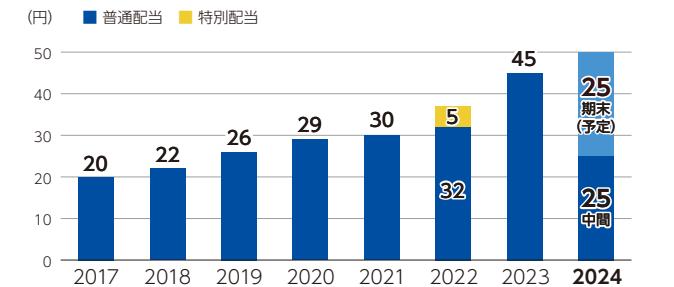
製造業を取り巻く環境は、AIなど先進技術の活用、脱炭素への対応、人材不足などの様々な課題が顕在化し、サプライチェーンの強靱化・高度化が一層求められています。このような中で製造業のお客さまは、モノづくりプロセスを効率化するだけでなく、各社が持つ技術資産を活用し、新たな価値を創出するためにDXに取り組んでいます。当社は、こうした取り組みを支援するため、各社が持つ設計資産をデジタル化し、イノベーションの土台を構築するMBSE^{*}ソリューションの提案を進めています。そして現在、このソリューションは自動車産業をはじめ、医療機器、コンシューマエレクトロニクスな

ど、幅広い製造業のお客さまがその導入に向けて取り組みを始めています。今後は、MBSEを中核としたソリューション提案を一層拡充するとともに、AIなどの先進技術を活用した既存製品の強化にも取り組んでまいります。

株主の皆さまには、今後も一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

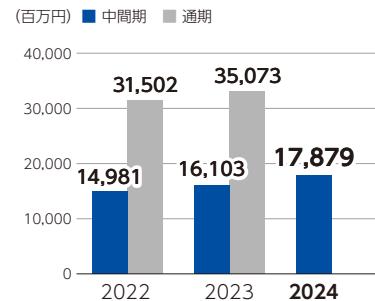
*MBSE(モデルベース・システムズエンジニアリング):電気・機械・ソフトなど複数の専門分野が複雑に関連し合うシステムの開発を成功させるためのアプローチ(システムズエンジニアリング)をデジタルモデルを活用して行うこと

配当金の推移



連結財務ハイライト

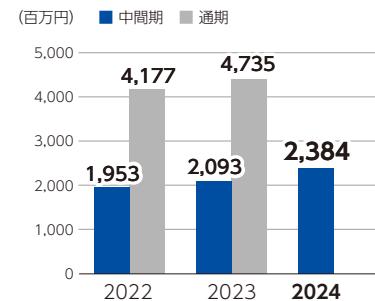
売上高



営業利益



経常利益



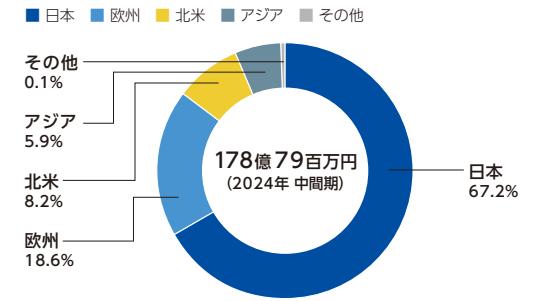
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



1株当たりの四半期(当期)純利益

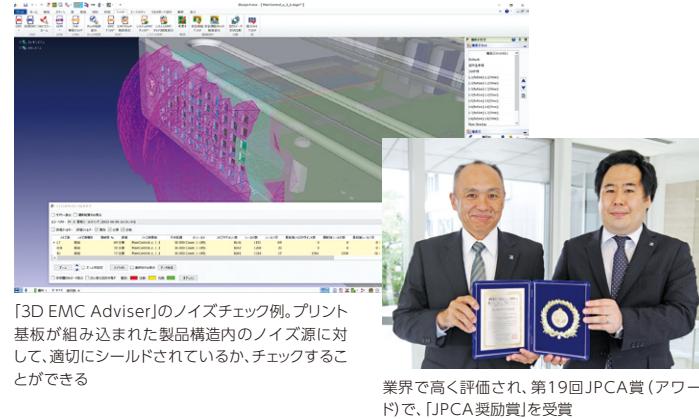


地域別売上高



業界初のエレキとメカを融合したEMC検証ツール「3D EMC Adviser」を販売開始

エレクトロニクス製品の小型化・高性能化に伴い、製品に搭載される電子回路の相互干渉が問題となっています。この干渉によって生じるノイズは製品の誤動作や性能低下につながるため、ノイズを制御するEMC対策の重要度が増しています。一方で、そのEMC対策はベテラン技術者の知見や経験に依存しているのが現状です。このような製品開発の課題に対応するため、図研は業界で初めてエレキとメカを融合したプリント基板設計のEMC検証ツール「3D EMC Adviser」を開発し、販売を開始しました。この製品は、EMC対策におけるベテラン技術者の検証ポイントを3Dで直感的に再現することができ、設計現場の技術伝承にも貢献しています。

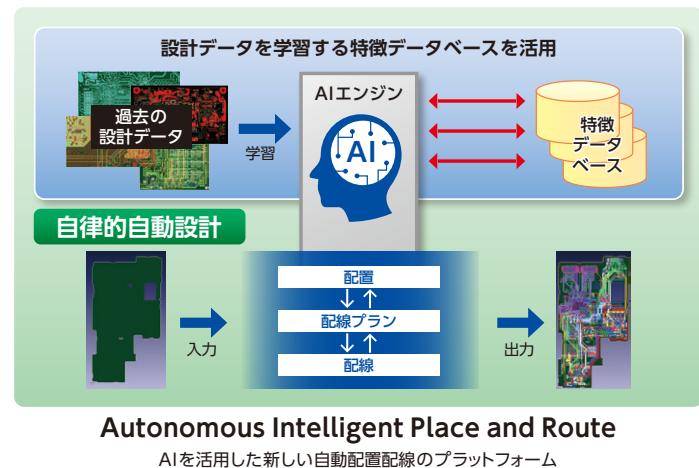


「3D EMC Adviser」のノイズチェック例。プリント基板が組み込まれた製品構造内のノイズ源に対して、適切にシールドされているか、チェックすることができます

業界で高く評価され、第19回JPCA賞(アワード)で、「JPCA奨励賞」を受賞

AIを活用したプリント基板設計用の自動配置配線機能「Autonomous Intelligent Place and Route」を来春より販売開始予定

プリント基板設計の革新として、エレクトロニクス業界で注目されるAIによる自動配線。図研は主力製品の「CR-8000 Design Force」のオプションとして、プリント基板などの設計をAIにより効率化する自動配置配線機能「Autonomous Intelligent Place and Route」を開発し、2023年度末に販売開始することを世界に向けて発表しました。近年、設計現場の人材不足が深刻化するなか、作業効率を大幅に向上させるソリューションとして期待されています。また、このニュースは、多くのIT関連Webメディアに取り上げられています。

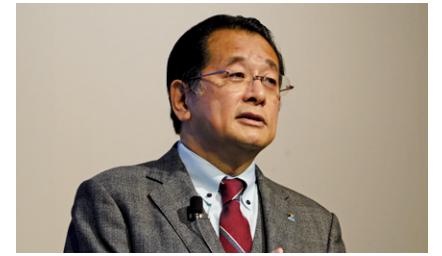


Zuken Innovation Worldを横浜で開催し、約900名が来場！ 同時期のオンラインイベントも盛況裏に終幕



2023年10月12日、13日に、図研が世界各国で開催しているプレミアムイベントZuken Innovation World(ZIW)を横浜で開催し、延べ900名近くのお客さまにご来場いただきました。当日は、パナソニック ホールディングス様の特別講演をはじめ、ユーザー企業やパートナー企業の講演、当社からのビジョン発表を行いました。また、「学ぶ、使いこなす、成果を出す」最新MBSEを体感いただくことをコンセプトに、米国のユーザー企業の事例発表やMBSE製品の新機能紹介、操作体験会など、MBSE導入を支援するプログラムを多数ご用意しました。講演終了後の懇親パーティは、参加者同士の交流や情報交換で賑わいを見せました。

そして、ZIWと併行して、オンラインイベントZUKEN digital SESSIONS(ZdS)も10月12日～19日で開催。当社の製品ロードマップやユーザー企業の事例発表などをオンデマンドで配信しました。ZIWへのご来場が難しい遠方の方や現場の技術者など、1,000名以上の方々にご視聴いただき、盛況のうちに終了しました。



専務執行役員 技術本部長 飯屋和浩より、製品戦略を発表



ZIWの講演会場の様子



ZIWの製品体験会(エクスペリエンス)の様子

Zuken Innovation World

開催日程: 2023年10月12日・13日
会場: 横浜ベイホテル東急

講演プログラム

- <国内企業>
クボタ、コニカミノルタ、東京大学、パナソニック
ホールディングス、Rapidusほか 計13講演
- <海外企業>
Applied Materials(米)、Vitesco
Technologies(独)ほか 計9講演

ZUKEN digital SESSIONS

開催期間: 2023年10月12日～10月19日
会場: オンライン

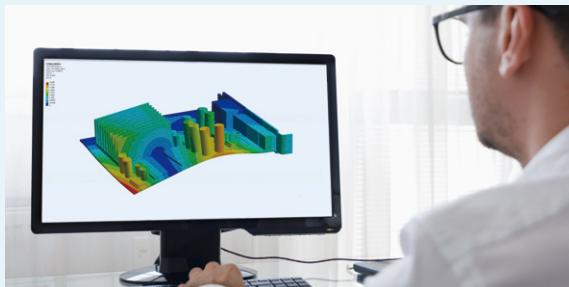
主なプログラム

- ・お客様事例講演 ……4セッション
- ・アカデミック講演 ……3セッション
- ・図研 製品開発ロードマップ ……10セッション
- ・図研 新製品/新ソリューション企画 6セッション
- ・パートナー企業講演 ……9セッション

図研モデリンクス

CAE/EMCソリューションを新たに提供開始

MBD/MBSEのコンサル・エンジニアリングサービスを展開する図研モデリンクスは、2023年6月より新たにCAE・EMCのソリューションビジネスを開始。設計時のシミュレーションや解析を支援し、コスト削減や生産性向上に貢献するソリューションとして、自動車業界をはじめ、先進的な取り組みに積極的な製造業へ提案してまいります。



CAEツールを用いた熱による基板の変形シミュレーション(イメージ)

図研プリサイト／図研アルファテック

設計・製造ソリューション展 (DMS2023)に出展

CAD、CAE、ERP、生産管理システムなど製造業向けITソリューションの専門展示会「第35回設計・製造ソリューション展」(6月21～23日開催、東京ビッグサイト)に出展。

図研プリサイトのブースでは、製造業向けに品質保証と原価見積を支援するソリューション2製品を、図研アルファテックのブースでは、製造業や建設業の設計図面で用いる「.dwg」データの有効活用や設計工数・コスト削減につながるソリューションをご紹介しました。両ブースとも多くの来場者の方々にご関心をお寄せいただき、盛況となりました。



図研プリサイトの展示ブース

図研では、「エンジニアリングITによる持続可能なモノづくりへの貢献」をサステナビリティの重要課題の一つとし、ソフトウェア事業の源泉である人的資本の拡充、モノづくり業界への貢献を目的とした次世代エンジニア育成に積極的に取り組んでいます。



図研のWebサイトに、サステナビリティ関連の情報を掲載しています

大学生を対象に9日間の体験型インターンシップを開催

モノづくりの流れや当社製品の理解を深めていただくため、エレクトロニクス製品を開発する体験型インターンシップを9日間で開催。実際に当社のCADやPLM製品を用いて電子機器を製作し、モノづくりの企画から回路設計、基板設計、部品購入、実装までの全プロセスを体験するプログラムを提供しました。当社では、このようなインターンシップの開催を通して、新卒採用活動を強化しています。



プリント基板の設計を体験する参加学生

学生フォーミュラ日本大会2023に協賛 横浜国立大チームの活動を支援

学生たちがフォーミュラカーを企画・設計・製作し、実際に走行させて、その総合成績を競うモノづくりコンペティション「学生フォーミュラ日本大会2023」に協賛し、8月31日～9月2日の3日間、現地会場において企業ブースを出展しました。ブースでは、当社CADで設計された自動車のワイヤハーネスを展示し、学生に当社事業や製品について紹介しました。また、同大会の出場チームである横浜国立大学フォーミュラプロジェクトの活動支援も行いました。



大会会場の当社ブースの様子

ZUKEN 欧州拠点 欧州5カ国で、4年ぶりにZuken Innovation Worldを開催

2023年4月～6月に「製品開発のイノベーションとサステナビリティ」をテーマに、欧州の5カ国(ドイツ、スイス、フランス、イタリア、イギリス)において、Zuken Innovation Worldを4年ぶりに開催。お客さまやパートナーを招待し、図研の事業ビジョンや技術トレンドの講演のほか、参加者同士の交流の場を提供しました。



図研の電装設計システム「E3.series」で設計されたワイヤハーネスを搭載したレーシングカー(KTM X-Bow)を展示



ZIW Germanyの講演会場の様子

図研Webサイトのご案内

コーポレートサイトには、ニュースリリースやイベント情報などリアルタイムな情報を掲載しています。また、投資家情報サイト(IRサイト)には、IRニュースをはじめ、中期経営計画や株主総会関連資料など、最新のIR資料を掲載しています。



コーポレートサイト



投資家情報 (IRサイト)



インフォメーション

会社情報 (2023年9月30日現在)

社名	株式会社図研 ZUKEN Inc.
設立	1976 (昭和51) 年12月17日
資本金	101億1,706万5千円
株式市場	東京証券取引所プライム市場
従業員数	440名 連結1,591名
平均年齢	44.2歳
URL	https://www.zuken.co.jp/

取締役・監査役

代表取締役会長	金子 真人
代表取締役社長	勝部 迅也
取締役副社長	相馬 肅一
取締役*	佐野 高志
取締役*	荒井 洋一
監査役 (常勤)	和田 扶佐夫
監査役*	半田 高史
監査役*	前波 吉伸

※は社外取締役および社外監査役です。

執行役員

専務執行役員	仮屋 和浩
専務執行役員	上野 泰生
執行役員	大澤 岳夫
執行役員	早乙女 幸一
執行役員	藤原 宏行
執行役員	奈良 功

株主メモ

事業年度	4月1日から翌3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当	3月31日
	中間配当	9月30日
公告方法	電子公告 (当社Webサイト https://www.zuken.co.jp/e-koukoku/) なお、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	
および口座管理機関	同連絡先	
	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  0120-232-711	

住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

口座をお持ちの証券会社にお申出ください。なお、特別口座で株式が管理されている株主の方は、口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

株式会社 図研



本社・中央研究所	〒224-8585 横浜市都筑区荏田東2-25-1	TEL: 045-942-1511(代)
センター南ビル	〒224-8580 横浜市都筑区茅ヶ崎中央32-11	TEL: 045-942-1300(代)
新横浜ビル	〒222-8505 横浜市港北区新横浜3-1-1	TEL: 045-473-6868(代)
関西支社	〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-2-28 堂島アクシスビル	TEL: 06-6343-1141(代)
名古屋支社	〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-23-20 HF桜通ビルディング	TEL: 052-950-3671(代)



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を元としています
FSC® C017928



この報告書は、環境に優しい植物油系インキを使用し印刷しています。